

令和7年度の教育活動等に対する学校評価書

学校法人静岡聖母学園 八幡聖母幼稚園  
園長 松崎淑江  
八幡聖母幼稚園 学校関係者評価委員会  
委員長 花村美佐子

1 幼稚園の教育目標

『生きる力を育む』

☆「やってみよう」に挑戦する子

☆神さまに愛されていると感じ、一人ひとりが心豊かな幼児期を過ごす

2 本年度の重点課題(学校評価の具体的な目標や計画)

- ・園内や固定遊具の老朽化による危険をこまめにチェックし未然防止に努める
- ・ECEQ(公開保育を活用した幼児教育の質の向上システム)に参加し、全職員で子ども主体の保育に向けての環境設定について学びを深めていく
- ・縦割り保育の時間を設け、子ども同士の豊かなコミュニケーションの中で思いやりや協調性、社会性や創造性を育む

3 自己評価結果とそれに対する学校関係者評価

評価項目		自己評価(令和 8年 2月 25日)		学校関係者評価(令和 8年 2月 27日)	
		評価点	幼稚園の取組・反省と改善策	評価点	評価・意見
教育内容	1 理念・方針	A		A	
	2 園の課題	A		A	
	3 行事の精選	B	子どもの遊びの時間の確保と幼稚園ならではの行事の兼ね合いが難しいが検討を続けていく	A	
	4 園児指導	A		A	子どもの怪我やトラブルもしっかり報告があり、親の安心につながる
	5 免許・資格	A		A	
	6 職員の課題	B	職員の意識が向上している上での目標達成への課題が見えてきている	B	職員の時間のゆとりがなくなることが心配
	7 研修の企画	A		A	
	8 環境設定	B	自然に目を向けたり地域への関わりが少なかったため、次年度は保育計画にしっかり入れる	B	地域に自然が多くあるので保護者がボランティアを募る工夫学区の学校や幼稚園と繋がりができたので今後期待する
子育て支援	9 未就園児	A	乳児の親子教室も定期的に行い、八幡聖母ならではの交流の場を作っていきたい	A	参加者は増えているが、八幡聖母ならではの内容を取り入れていく
	10 在園児	B	保護者が安心して相談できる場や時間を周知させていきたい	A	
	11 児相等の連携	A		A	
	12 預かり保育内容	A		A	
	13 預かり保育体制	A		B	縦割りなので把握する難しさもあるが、子どもの遊び方に目を配り危険を回避する必要がある
安全管理	14 施設と設備	B	点検を欠かさず、危険な箇所は早急に対応していく	B	引き続き危険個所の点検をこまめに行う
	15 防犯体制	B	防犯に対する職員の危機意識を高め、常に全体に気を配るよう努める	B	女性だけの職場なので、体制をしっかりとしていく必要がある
	16 安全衛生管理	A		A	幼稚園がいつもきれいだである
	17 アレルギー対応	A		A	
	18 防災対策	A		A	

評価項目		自己評価(令和 8年 2月 25日)		学校関係者評価(令和 8年 2月 27日)	
		評価点	幼稚園の取組・反省と改善策	評価点	評価・意見
人事管理	19 労働条件明示	A		A	
	20 時間外勤務	A		A	
	21 就業規則	A		A	
	22 労働者名簿	A		A	
	23 自己評価	A		A	
財務管理	24 予算作成	A		A	
	25 決算の分析	B		B	決められた予算の中でのやり繰り、保育・安全に努めていると感じる
	26 情報開示	A		A	
	27 個人情報保護	A		A	
	28 経理規程	A		A	

※自己評価、学校関係者評価とも1～28の各評価で特筆すべき点がある場合、またはC、Dの評価点の場合はコメントを記入のこと。

評価結果の表示方法

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取り組みが不十分である

4 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取組方法
安全管理	新園舎建設に向け、6月より信徒会館解体工事、秋より本工事となり大型車両の出入りが始まる。登降園や保育における安全を第一にフェンス等を利用し、危険個所との区別をしっかりと行う。近隣に駐車場を借りる予定であるが、保護者への連絡を徹底し事故を防ぐ。
保育内容の充実	ECEQを通し学んだ子どもの主体性を育むための人的・物的環境について、更に理解を深めていけるよう子どもの声に寄り添った保育を行っていく。また秋から園庭を使用できない時期に入るので、近隣の公園に出掛け子どもの心身の健康にも配慮していく。
地域とのつながり	幼小架け橋期の重要性について、学区の森下小や近隣の幼稚園と繋がる機会に恵まれた。アプローチカリキュラムの作成を行い、小学校との連携を密にしていこう。近隣の幼稚園児との交流など地域や社会に目を向ける機会を増やしていきたい。

5 自己評価、学校関係者評価の公表

●公表期間 令和 8年 3月 2日 ～ 令和 8年 4月 10日

●公表方法 学内掲示板による

記入日 令和 8年 3月 2日

記入者 園長 松崎淑江

